

記入例（入学料の減免に該当する場合）

様式第1（その1）（第4関係）

4月7日以降の日付で実際に提出する日を記入

入学料・授業料減免（徴収延期）申請書

令和7年4月7日

愛知県立松蔭高等学校長殿

生徒

愛知県立松蔭高等学校 全日制課程

普通科

令和7年入学第 1 学年 1 組

住 所 名古屋市中村区烏森町2-2

氏 名 松蔭 太郎

保護者（続柄 母）

住 所 名古屋市中村区烏森町2-2

氏 名 松蔭 花子

別紙理由により、入学料・授業料の減免（徴収延期）について次のとおり申請します。

減免等の額	全日制 専攻科	入学料 5,650円 (月額 円) 授業料 円 納付額の全部・半額
	定時制	単位数 単位 入学料 円 (月額 円) 授業料 円 納付額の全部・半額
	通信制	単位数 単位 入学料 円 授業料 円 納付額の全部・半分
減免等の期間	全日制 定時制 専攻科	年 月分～ 年 月分
	通信制	減免単位数
徴収延期の場合	延期期日	年 月 日まで

記入例

様式第 2

入学料・授業料減免(徴収延期)申請理由書

全日制課程 普通科 1 学年 組 生徒名 **松蔭 太郎**

1 家庭の状況

続柄	氏 名	年齢	職 業 又 は 学 校 名	同居・別居
母	松蔭 花子	45	パート(〇〇会社)	同居
姉	松蔭 春子	16	〇〇高校 2年	同居
本人	松蔭 太郎	15	松蔭高校 1年	同居
弟	松蔭 次郎	10	△△小学校 4年	同居

本人の記入漏れに注意

※生徒本人を含む。

2 減免等を申請した理由

下記の例を参考に生活状況を詳しく記入してください。

- 例 1 離婚** 令和〇年〇月離婚。母の収入で生計を立てているが、収入が少なく生活が困難なため。なお、親権は、母花子にあります。
- 例 2 転職** 令和〇年〇月に転職をしたが、収入が少なく生活困難なため。
- 例 3 父死亡** 令和〇年〇月父が病気により死亡。以後、母のパート収入で生計を立てているが、収入が少なく、生活困難なため。

該当項目に〇印をつけてください。

減免等事由の番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
該当項目に〇印	○				

記入もれに注意

* (4)・(5)に該当する場合は特に詳細に理由を上記に記入してください。

- 3 生活保護(生業扶助における高等学校等就学費)の受給の有無(該当するものに〇印をつけてください。) 受給している ・ **受給していない**
- 4 その他(現在兄弟等で他の公立高等学校において減免等を受けている場合又は減免等の申請手続中の場合は下記に記入してください。)

●● 立 〇〇 高等学校 2 学年 組 生徒名 **松蔭 春子**

兄弟等について記入(該当者のみ)